

2026年6月11日

各 位

会 社 名 株式会社リミックスポイント
代表者名 代表取締役社長 CEO 高橋 由彦
(コード番号：3825)
問合せ先 経営管理部長 安武 明伸
(TEL：03-6303-0280)

2027年3月期連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、未定としておりました2027年3月期の連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (2026年3月期)	17,751	△5,477	△5,501	△4,740	△33.89
今回業績予想 (2027年3月期)	48,777～ 56,112	6,723～ 14,058	6,485～ 13,820	5,319～ 11,443	36.28～ 78.06

2. 2027年3月期連結業績予想公表の理由

2027年3月期の連結業績予想につきましては、主に電力小売事業を営むエネルギー事業において、中東情勢の緊迫化、資源価格の変動、電力市場価格の先行き等が不透明であり、売上高および売上原価に与える影響を合理的に見積もることが困難であったことから、2026年5月15日公表の「2026年3月期決算短信」においては未定としておりました。

その後も、外部環境には一定の不確実性が残るものの、足元の資源価格および電力市場価格の推移、当社グループの保有契約数の動向、蓄電ソリューション事業における案件進捗、ならびにデジタルアセットマネジメント事業における保有暗号資産およびレンディング収益の見通し等を総合的に精査した結果、現時点において一定の前提条件を置くことが可能であると判断いたしました。

また、当社は、株主・投資家の皆様に対する情報開示の充実および経営の透明性向上を重要な経営課題と認識しております。今後の事業環境については引き続き注視が必要であるものの、現時点で収集可能な情報に基づき、合理的に算定した連結業績予想を公表することといたしました。

当社グループにおいては、エネルギー事業の収益基盤が回復基調にあることに加え、蓄電ソリューション事業が今後の成長領域として利益貢献を拡大していく見通しです。さらに、デジタルアセットマネジメント事業においては、保有暗号資産の評価損益のみならず、レンディング等を通じた資産効率の向上および継続的な収益機会の創出にも取り組んでおります。

当社は、2027年3月期を、既存事業の収益力回復と成長事業の利益貢献を明確化する重要な事業年度と位置付けております。今後も、事業別の収益構造や主要 KPI の開示充実に努めるとともに、資本効率を

重視した経営を推進し、企業価値および株主価値の持続的な向上を目指してまいります。

3. 各セグメントの見通しおよび業績予想の前提条件

当連結業績予想の算定にあたっては、各事業において以下の前提条件および見通しを置いております。

(1) エネルギー事業

エネルギー事業におきましては、中東情勢の緊迫化や資源価格の変動など、外部環境には引き続き不透明感が残るものの、当社グループが保有する契約数は順調に推移しており、事業基盤は着実に拡大しております。

また、電力小売事業における契約基盤の拡大に加え、調達・販売管理の高度化、電力市場価格の変動に対応したリスク管理の強化、ならびに収益性を重視した事業運営を進めております。

これらを踏まえ、2027年3月期のエネルギー事業におけるセグメント売上高は36,624百万円、セグメント利益は2,005百万円を見込んでおります。

当社は、エネルギー事業について、売上規模の拡大のみならず、利益率、キャッシュ・フロー、リスク管理を重視した運営体制を構築し、安定的な収益基盤の確立を目指してまいります。

(2) 蓄電ソリューション事業

蓄電ソリューション事業におきましては、再生可能エネルギーの導入拡大、電力需給の調整ニーズの高まり、系統安定化に対する社会的要請の増加を背景に、系統用蓄電池を中心とした市場環境は中長期的に拡大基調にあるものと認識しております。

当社グループにおいても、合同会社NCパイオニアの連結を含め、系統用蓄電池事業が順調に推移しており、蓄電ソリューション事業は今後の収益成長を牽引する重要な事業領域であると位置付けております。

これらを踏まえ、2027年3月期の蓄電ソリューション事業におけるセグメント売上高は7,045百万円、セグメント利益は1,002百万円を見込んでおります。

当社は、蓄電ソリューション事業を単年度の案件収益にとどめることなく、電力需給調整、再生可能エネルギーの有効活用、将来的なエネルギーマネジメント領域への展開も見据えた成長事業として育成してまいります。

(3) デジタルアセットマネジメント事業

デジタルアセットマネジメント事業におきましては、ビットコインを中心としたデジタルアセット市場は、短期的には価格変動リスクを伴うものの、グローバルな金融市場における制度整備、機関投資家の参入拡大、インフレヘッジ資産・代替資産としての認知向上などを背景に、中長期的な成長余地を有する市場であると考えております。

当社は、保有する暗号資産について、単なる保有にとどまらず、レンディング等を通じた資産効率の向上にも取り組んでおります。これにより、暗号資産価格の上昇に伴う評価益のみならず、保有資産を活用した継続的な収益機会の創出を目指しております。

業績予想の算定にあたっては、2027年3月期中のビットコイン価格について、1BTC=86千ドルから116千ドルの算定前提価格レンジを置いております。

(単位：USドル)

種類	2027年3月期	
	下限前提	上限前提
BTC	86,000.00	116,000.00
ETH	2,337.95	2,744.55
SOL	92.21	108.24
XRP	1.50	1.76
DOGE	0.10	0.12

* 本業績予想は、将来の暗号資産価格を保証または予測するものではなく、現時点で入手可能な情報に基づき、業績予想を算定するために当社が置いた一定の前提条件であります。

当該前提に基づき、当社が保有する暗号資産に係る評価益は 4,707 百万円から 12,042 百万円となる見通しです（1 USD=160 円で換算）。

(単位：百万円)

種類	数量	2026年3月末	2027年3月期	
		帳簿価額*	下限前提 (1BTC=86千ドル)	上限前提 (1BTC=116千ドル)
BTC	1,496.40 BTC	15,997	20,590	27,773
ETH	901.45 ETH	293	337	395
SOL	13,920.07 SOL	178	205	241
XRP	1,191,204.80 XRP	248	286	336
DOGE	2,802,312.00 DOGE	40	46	54
合計		16,758	21,465	28,800
暗号資産評価益			4,707	12,042

* BTCの帳簿価額は、2027年3月期期首簿価に、2026年4月1日以降取得したビットコイン取得価額1,000百万円およびレンディング報酬として2025年5月15日までに受領したビットコインの評価額（受領月の平均レートに基づき算出）を加算しております。

また、当期においては、暗号資産レンディングによる収益として約400百万円を見込んでおります。これらを合算した結果、デジタルアセットマネジメント事業における2027年3月期のセグメント売上高は5,107百万円～12,442百万円、セグメント利益は5,107百万円～12,442百万円を見込んでおります。

なお、本業績予想は、将来の暗号資産価格を保証または予測するものではなく、現時点で入手可能な情報に基づき、業績予想を算定するために当社が置いた一定の前提条件であります。暗号資産価格は市場環境により大きく変動する可能性があるため、当社は価格変動リスクを適切に管理しつつ、保有資産の効率的な運用、財務健全性の確保、ならびに株主価値向上に資する資本政策を継続的に検討してまいります。

4. 今後の方針

当社は、2027年3月期において、エネルギー事業の収益力回復、蓄電ソリューション事業の成長加速、デジタルアセットマネジメント事業における資産効率の向上を通じて、連結業績の改善および企業価値の

向上に取り組んでまいります。

また、株主・投資家の皆様に対しては、各事業の進捗、収益構造、主要 KPI 等について、より分かりやすく、継続性のある情報開示に努めてまいります。

当社は、今後も資本効率を重視した経営を推進し、成長投資、財務健全性、株主還元のバランスを意識しながら、企業価値および株主価値の持続的な向上を目指してまいります。

以 上